

みずほCustomer Desk Report 2019/03/15号(As of 2019/03/14)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.30
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.21	1.1331	126.01	1.3282	0.7086
SYD-NY High	111.83	1.1338	126.55	1.3331	0.7098
SYD-NY Low	111.14	1.1294	125.97	1.3208	0.7042
NY 5:00 PM	111.70	1.1303	126.26	1.3240	0.7066
NY DOW	25,709.94	7.05	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,630.91	▲ 12.49	日本10年債	-0.0500	0.00bp
S&P	2,808.48	▲ 2.44	米国2年債	2.4617	▲ 0.32bp
日経平均	21,287.02	▲ 3.22	米国5年債	2.4296	▲ 0.17bp
TOPIX	1,588.29	▲ 3.78	米国10年債	2.6294	0.54bp
ソコ日経先物	21,200.00	▲ 120.00	独10年債	0.0840	2.20bp
ロンドンFT	7,185.43	26.24	英10年債	1.2225	2.65bp
DAX	11,587.47	15.06	豪10年債	1.9700	1.70bp
ハンセン指数	28,851.39	43.94	USDJPY 1M Vol	5.18	0.01%
上海総合	2,990.69	▲ 36.27	USDJPY 3M Vol	5.80	0.02%
NY金	1,295.10	▲ 14.20	USDJPY 6M Vol	6.39	▲ 0.16%
WTI	58.61	0.35	USDJPY 1M 25RR	-0.85	Yen Call Over
CRB指数	183.39	▲ 0.02	EURJPY 3M Vol	6.76	▲ 0.09%
ドルインデックス	96.79	0.23	EURJPY 6M Vol	7.37	▲ 0.08%

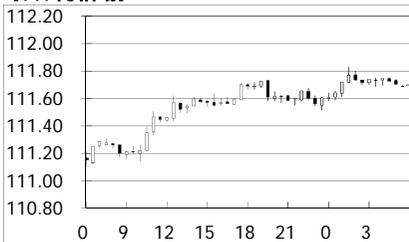
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月14日	11:00	中 小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(年次前年比)	2月 8.2%/6.1%/5.3%	8.2%/6.1%/5.6%
	16:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	2月 0.4%/1.5%	0.5%/1.6%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 229K	225K
	23:00	米 新築住宅販売件数	1月 607K	622K

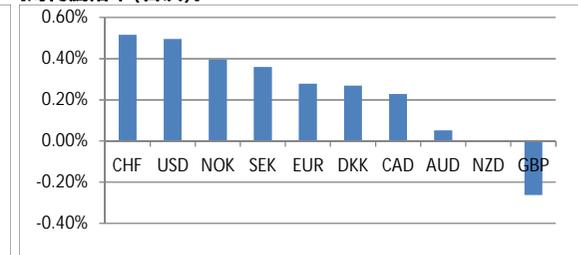
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月15日	-	日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	-	-0.1%
	15:30	日 黒田日銀総裁 記者会見	-	-
	19:00	欧 CPIコア(前年比)・確報	2月 1.0%	1.0%
	19:00	欧 CPI(前年比)・確報	2月 1.5%	1.4%
	21:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	3月 10.0	8.8
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	2月 0.4%	-0.6%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド指数・速報	3月 95.7	93.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00 - 112.00	1.1250 - 1.1350	125.50 - 127.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場はアジア時間から小幅上昇、111.75レベルでクローズ。英国下院でEUからの離脱の延期をEU側に求める動議が可決され、合意なき離脱が回避されるとの観測を背景に円売りが進行する展開。ただし14日の採決結果は市場では既に織り込み済みであったことをもあり、値幅は限られた。離脱期限の延期を巡ってはEU側との交渉もまだ残されている状況下、積極的にリスクを取っていく局面でもないと思われ、ドル円に関しては楽観的にはみているものの、一段の上値を目指す動きにはなりにくいものと思われる。

東京	東京時間のドル円は111.21レベルでオープン。前日に英議会で「合意なき離脱」を回避する案が可決となったことでEU離脱問題への懸念が和らぎ、ドル円は上昇基調となった。高く寄り付いた日経平均株価は中国の経済指標の悪化を受けて上げ幅を縮小させたものの、ドル円への影響は限定的となり、結局111.55レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.55レベルでオープン。小動きながら堅調な推移で111.73まで上昇したが、米中首脳会談が4月に延期になるとの一部報道で売られ、111.60レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3252レベルでオープン。前日の英議会で「合意なき離脱」を排除する動議の決定を受けポンドは上昇し1.3331まで買われる。ただ、本動議は法的拘束力を持たないこともありポンドは程なく利食われ1.3208まで下落。結局1.3230レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は111.60レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数がやや予想を上回ったものの、ドル円の反応は限定的となる。続いて発表の米1月新築住宅販売件数が予想を下回ったことからやや下押しする局面もあったものの、その後米金利が上昇する動きに、ドル買いが優勢となり、ドル円は111.83まで上昇する。午後は、トランプ大統領のメキシコとの国境の壁建設費の為に発令した国家非常事態宣言の無効化の採決が上院で可決されたが、ドル円の反応は限定的となり、ドル円は111.70付近での推移が続き、111.70レベルでクローズした。一方、ポンドドルの下落に連れ安となったユーロドルは、1.1296まで反落し、1.1302レベルでNYオープン。英国のEU離脱期限延長を巡る議会投票を控え、ユーロドルは1.1300を挟んだ推移が続く。午後に入り英議会で2回目の国民投票の実施要求が否決され、予想通りブレグジット延期が採決されたものの、EU加盟国すべてが合意する必要があること等から、投票結果を受けたユーロドルの反応は限定的となり、1.1303レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤・森谷